

令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和2年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領」(令和2年4月1日付け元農振第3632号農林水産省農村振興局長通知)第11の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和2年度に交付金事業を実施した8事業について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる事業が5事業、良好と認められる事業が3事業との評価結果となった。

3. 各事業の評価結果

●地域活性化対策のうち人材発掘事業(農村体験研修の実施)

7件

事業実施主体名	評価	評価コメント
ハレノヒ株式会社	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
特定非営利活動法人プラットフォームあおもり	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
株式会社ブランド総合研究所	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
特定非営利活動法人サービスグラント	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
株式会社パソナ農援隊	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
株式会社マインドシェア	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。

(注) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

●地域活性化対策のうち人材発掘事業(情報の発信及び共有)

1件

事業実施主体名	評価	評価コメント
株式会社パソナ農援隊	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領第11の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会分科会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学教授)

委員:嵩和雄(国学院大学准教授)、金子洋二(大正大学准教授)、谷中修吾(一般社団法人INSPIRE代表理事・BBT大学教授)

【令和3年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日時:令和3年8月12日(木)10:00~12:00 2 場所:【Web会議】 3 議事概要 ① 令和3年度評価対象事業の評価方法について 本年度の評価方法について説明し、了承を得た。 ② 令和3年度評価対象事業の評価について 令和2年度に実施した8事業について、取組概要及び評価案に関して説明し、質疑応答を行った。 4 主な意見 事業実施主体の事業実施体制が計画どおり整備され、十分に機能した場合については、外部団体等との連携がなくてもA評価とすべきである。
第2回評価委員会
1 日時:令和3年8月24日(火)10:00~11:30 2 場所:【Web会議】 3 議事概要 ① 令和3年度評価対象地区の評価について 令和2年度に実施した8事業について、評価案等に関して、了承を得た。 4 主な意見 ○昨年度の事業結果を踏まえ、より良い評価指標について検討すべきである。 ○本事業の主旨から農作業の時期と事業効果との連動を考慮すると、単年度実施ではなく複数年度での実施を検討すべきである。